

災害への備え

災害はいつ起こるか分かりません。実際に発生した時のことを想定して、家族で話し合い、各自で何をすべきか、あらかじめ避難場所・連絡方法などを確認しておきましょう。



「浅口市メール配信サービス」は避難情報など、災害に関する緊急を要する情報をメールでお知らせします。緊急時の情報を素早くキャッチするために是非登録しましょう。



日頃から避難場所や自宅周辺を確認し、避難経路や避難方法を家族で話し合っておきましょう。



避難の際、何らかの手助けが必要な方や声かけが必要な方がいる場合はハザードマップにあらかじめ書き込んでおきましょう。



家族で何が必要か考え、日頃から非常時持出品や備蓄品などを準備しておきましょう。

気象情報 (大雨の場合)

警戒レベル 2

警戒レベル 3 相当

警戒レベル 4 相当

警戒レベル 5 相当

雨が強くなると…

大雨注意報

災害が起こるおそれがあります。

大雨が降り続けると…

大雨警報 (土砂災害)

重大な災害が起こるおそれがあります。

さらに激しい大雨が続くと…

土砂災害警戒情報

土砂災害の発生危険度が高まっています。

数十年に一度の大雨になると…

大雨特別警報

土砂災害が同時多発的に発生するおそれが高まっています。

特に警戒が必要な情報

災害が発生、または発生する危険が高くなると発表されます。これらの情報を確認したら、ただちに命を守る行動をとります。

●特別警報

警報の発表基準をはるかに超える場合に発表されます。(例：大雨特別警報) 特別警報が発表されたら、ただちに命を守る行動をとります。

●土砂災害警戒情報

現在の雨量および土壌雨量指数(地面に含まれている水分量)を基準に、土砂災害が発生する危険性が高まった場合に発表されます。

●緊急地震速報

震度5弱以上の地震が予想される場合に発表されます。テレビ・防災行政無線・携帯電話【緊急速報(エリア)メール】などで皆さんに伝えられます。

●記録的短時間大雨情報

1時間の降雨量が基準値をはるかに超えた場合に発表されます。土砂災害や洪水害の発生につながるような稀にしか観測しない雨量をお知らせするために発表します。

ハザードマップの使い方

STEP 1



◆まずは、自宅の位置を確認しよう

ハザードマップの地図面でまずは、自宅を見つけ、周辺にどんな危険箇所があるか確認しましょう。



STEP 2



◆災害種別を確認しよう

ハザードマップに記載されている、各災害種別を確認し、気象台や市が伝える情報によってどのような避難行動をとるべきかあらかじめ話し合しましょう。

STEP 3



◆避難場所を確認しよう

災害の種類によって避難場所は異なります。STEP1・2で災害の種類別と区域を確認したらどの避難場所へ行くのか家族で話し合い、決めておきましょう。

裏面の「我が家の防災メモ」に書き込もう!



STEP 4



◆避難経路を確認しよう

避難の方法に併せて避難場所と避難経路となる道路を地図上で確認し、家族で一度歩いてみましょう。

併せて確認 危険を感じた時、近所で声をかける人はいませんか?

